



# コミバス市民の会だより

第 7 号

発行日  
2010年4月1日

## 第5回コミバス試運行にむけての提案

### 「錦が丘お出かけバス」 & 「大倉山ハイムお出かけバス」からの出発

昨秋、錦が丘町内会と大倉山ハイム町内会で実施したワークショップでこの二町会とその周辺地域拠点を結ぶ循環バスの構想が提案されました。その後、世話人会で具体的実施方法について議論して参りました。その結果、ほぼ以下の方針が確認されました。



#### 方向性

- ① ワークショップで提案された、少子高齢社会に対応した「錦が丘町会と大倉山町会の住宅地その周辺の生活活動拠点を結ぶ比較的広域の循環バス」実現という考え方については、継続する。
- ② ただ、錦が丘の地域と大倉山ハイムの地域の生活圏は現実には独立した面が多く、当面はそれぞれの地域の生活圏とそこからの必要性に根付いた独自の路線をもった事業を実現させる。次にその路線の発展・展開のなかで、この二つの路線の重ね合わせる中でその統合を目指していく。

#### 第5回試運行は それぞれの地域で 「お出かけバス」を

- ③ ・車両は福祉クラブ生協や自動車学校などの送迎バスのあいている時間帯を借用する。  
・運転手は、それぞれの地域からボランティアを募る。  
・運行間隔は 週にそれぞれの地域で二日間・一日二便を目指す。  
・事業形態は 地域のお出かけの足を目的にした会員制バスとする。(錦が丘ではオーケーお買い物バス、ハイムではハイム・大倉山駅・新横浜駅循環バス)  
・会費は、一回の乗車で上限200円見当になるよう換算して設定する。  
・事業主体はコミバス市民の会とし、市民の会とは別組織としてこの事業に賛同する会員を募り事業の実施を市民の会とともに担っていく。  
・実施時期・期間 今年秋季一ヶ月ぐらいを考える。可能な場合には延長していく。  
・条件(運転手確保、事業実施に必要な会員数の確保)の整った地域から着手する。

今後 世話人会で運行企画素案を作り提案していきたいと思えます。

この事業を 乗車するというだけでなく、作りあげていく過程に参加され、地域の住民が、会員が自分達自身の手で作りに上げていく事業になっていくことを心から願うものです。

#### 第5回試運行 Q & A

Q 送迎バスの空き時間を借りることができれば 経費軽減になり良いですね。どのくらい費用がかかるのですか？

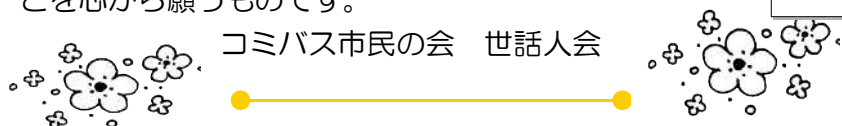
A 福祉クラブ生協では 地域貢献事業の一つとして取り組んでくださるとのこと。大変ありがたいです。「採算を取る」という最大のハードルがぐんと下がりますので、会費だけで賄える利用しやすいお出かけバスの試運行ができそうです。

Q それぞれの地域で企画するんですか？

A そうです。地域の中で、利用する人・運転する人がいてお出かけバスは走ります。地域の個人だけでなく、域内の施設・団体・グループにも参加をよびかけ試運行していきたいです。

Q 週2日2便が今回の試運行の目標ですか。

A まずは「週2日一日2便で一ヶ月の試運行」が現在の目標です。できる範囲で実施して、継続できるかどうか、運行日数・便数の増減はどうするのかなどを検討していきます。



# 今、「コミュニティ」と「公共交通」の 再考・再構築に迫る！

コミュニティ政策学会第9回シンポジウム  
『コミュニティで公共交通を創出する』に参加して

3月28日に開催された標記のシンポジウムに参加した。  
NPO法人かながわ移動サービスネットワーク理事長清水弘子さん  
による基調報告や2月10日に試乗させていただいた大和市鶴間地区  
循環バスの報告があるというので、期待して会場である大和市コ  
ミュニティセンター鶴間会館に出向いた。

期待に違わぬ大きな示唆に富む場だった。私たちコミバス市民  
の会は「コミュニティがコミュニティバスを作る」「コミュニティ  
バスがコミュニティを作る」という合い言葉を掲げてきたが、その  
包括的な整理とともに、より具体的で固有な条件の中で、希望を  
実現していくことのヒントを得て、非常に元気づけられた。

今求められる「公共」と「コミュニティ」の捉え返し



基調報告する清水弘子さん

基調報告は、「今までの交通政策が  
事業者によって作られてきた」（つまり利用者は、自分の要望を申し述  
べるだけ）と指摘した。今までのこの常識的な考え方を超えることは、  
とても大切である。しかもこの課題を、外出・移動を保障する公共交  
通は文化、教育等と同様の公共サービスとして構築していかなければなら  
ないという思想の獲得と同時に達成する事が大切である。ここに、「公  
共」のイメージを作り直していくことの大切さがあり、「コミュニティ  
で公共交通を創出する」というテーマ設定の今日的な重要性があると  
確認した。

地域のもつ力（車と人）を見つめ、熱意で実現！

事例報告では、大和市鶴間地区循環バスが、まず注目  
された。町内会の取り組み、それを推進した熱意ある  
持続的な有志の活動、運転ボランティアの集合、大和  
市の適切な関わり（車両提供）の合成により、この四  
月からの実験走行に至った過程が映像も含めて生き生  
きと報告された。二月の試運行に試乗させていただ  
いた時、助手席にいて、乗車介添えとアンケートをされ  
ていた運行準備会の入澤牧子さんの報告は「協力の気  
持ちから、主体の気持ち」への変革こそ大事だと強調  
された。

神戸市淡河町（おうごちょう）のゾーン・バスの事例報  
告では地域内の福祉施設保有の車を運用して、大幅に  
経費圧縮を実現していた。地域内の車を使わせても  
らう方式は、討論の中で宇治市の方々からも報告さ  
れた。

高知県中山間地域における過疎の生活を支える移動販  
売事業の報告も興味あるもので、充実した気持ちで帰  
についた。

（入江）

やれるところから実行  
して、次の実行を

矢野豪己さん（談）  
大倉山ハイム・コミバス市民の会

昨年秋に、大倉山ハイムのみなさん  
のご協力により、錦ヶ丘と同日に  
ワークショップを開催していただいた  
ことは、まことに感謝にたえません。た  
だ、一歩進んで自分たちで汗をか  
いてコミバスを実現しようという機運が  
大きく高まったところまではいか  
なかったことも事実です。

世話人会の皆さんは、今秋第5回  
の試運行実現へむけての議論を熱  
心にされておられる。

大倉山地区でもこの試運行の一  
翼を担う積極的な活動を希望します。



事例報告大和市鶴間地区循環バス滝澤誠乗  
合バス運行準備会会長と入澤牧子副事務局長

## 報告

- 1/10 新春餅つき大会
- 1月 車輛の貸し出しについて問い合わせ
- 1/31 第60回コミバス市民の会世話人会
- 3/14 第61回コミバス市民の会世話人会
- 3/29 第62回コミバス市民の会世話人会

## これから

- 4/3.4 錦が丘桜まつり コミバスパネル展示
- 4/18 カーボン山さくら祭り もちつき参加予定
- 4/18 18:30 第63回コミバス市民の会世話人会



あとがき

満開の桜をめながら新しい一年の始まりを感じる。日本人なんですね。コミバスも新  
年度、大勢の気持ちを結集できれば、と気持ち新たにしています。（砂田）